

医療の仕事 現場で学ぶ

高校生が一日病院体験

松山 薬剤師や検査技師に入門

医療の道に関心のある高校生が医師や看護師から直接仕事について教わる「高校生一日病院体験」が松山市来住町の愛媛生協病院であり、県内の4人が関心のある職種に現場に触れた。

同病院が春と夏に毎入院病棟への立ち入り年開催しており、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの実施となった。感染防止のため、や放射線技師など各職

12日、参加者はケル



の仕事を経験。臨床検査技師の班では、3人が検体検査室と生体検査室を訪問し、フロアから検査機器の使い方を学んだ。

の早期発見につながる大切な検査であることがわかり、実際に眼底の写真を撮影してもらい興味深く見入っていた。

検体検査では顕微鏡をのぞいて血液中の白血球を観察。目の血管など至観察する眼底カメラの説明では、病気の

は「現場に来られたことと臨床検査技師の仕事のイメージがわき、さらに目指したくなると意欲を高めていた。」(中田佐知子)



臨床検査技師(左)から眼底カメラの撮影画像を見せてもらう高校生ら